

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	産業建設常任委員会		会議場所 全員協議会室 担当職員 駒田
日 時	令和5年5月25日（木曜日）	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午前 10 時 52 分
出席委員	◎木村、○法貴、林、片山、山木、小川、齊藤、（菱田議長）		
出席理事者	【まちづくり推進部】信部部長、清水事業担当部長 [都市計画課] 田中課長 [都市整備課] 小西課長		
出席事務局	井上事務局長、駒田主査		
傍聴者	市民 0 名	報道関係者 0 名	議員 1 名（梅本）

## 会 議 の 概 要

10:00

### 1 開議（木村委員長あいさつ）

<木村委員長>

前回の月例で協議し、正副委員長に一任いただいた委員会の活動テーマは「新たな産業イノベーションの発展について」に決定した。1年間テーマに沿って活動するのでよろしく願います。

[事務局日程説明]

### 2 行政報告

[まちづくり推進部入室]

[まちづくり推進部長あいさつ]

#### (1) 高野林・小林土地区画整理事業に伴う町の区域の設定並びに町の区域及び名称の変更について（まちづくり推進部）

[都市整備課長 資料に基づき説明]

10:08

[質疑]

<齊藤委員>

名称を変更する際に発生する費用は、土地区画整理事業で清算するのか。

<都市整備課長>

諸手続きの費用は組合で負担いただくことになっている。

<小川委員>

明晴区と高野林区の道路の接続も速やかをお願いしたい。これは要望としておく。

<齊藤委員>

土地区画整理事業の道路と、ほ場整備事業の農道との接続については協議しているか。

<都市整備課長>

J R山陰本線を挟み、明晴区とほ場整備の区域が隣接している。その接続については、行政の管理者やJ R、ほ場整備の事業者と組合が密接に協議することにより対応いただいている。

<齊藤委員>

将来に向けて、しっかりとまちづくりができるよう協議いただきたい。

<木村委員長>

桂川西工区のほ場整備が進む中で調整池を一つにするということも聞いたが、そのことについて説明をお願いする。

<都市整備課長>

雨水調整池は下流の排水路が整備できていないため、現在は暫定調整池を組合で運営いただいている。下流の排水路整備がボトルネックとなっているため、調整池は暫定調整池よりも容量を増やし、7, 400立方メートルの容量で対応いただいている。下流の排水路が整備できると恒久調整池となるが、そちらは容量2, 500立方メートルで整備されることになる。下流の排水路が整備できた段階で切り替えることになるが、大井町など下流の地域に対してしっかり説明した上で進めていただく予定である。

[まちづくり推進部退室]

10:14

### 3 行政視察について

#### (1) 視察行程について

[事務局 行政視察資料について説明]

<木村委員長>

行程について、これで行くこととしてよいか。

(全員了)

<木村委員長>

先日開催された「水とみどりのまちづくりシンポジウム」において、ジャパンガーデンツーリズムの一つに浜松市の「アメイジングガーデン・浜名湖」が登録されているという話があった。複数の公園・庭園で構成されているが、アクセスのよい浜松城公園を見に行きたいと考えている。3日目に浜松市を視察した後に立ち寄りたいがよいか。

(全員了)

<小川委員>

せっかく行くのであれば、参考にもなるのでガーデンツーリズムを見に行きたい。

#### (2) 行政視察調査シートについて

[事務局 行政視察調査シートについて説明]

<木村委員長>

行政視察調査シートについて、視察の目的などこの内容でよいか。

(全員了)

#### (3) 質疑事項の抽出について

<木村委員長>

事前にいただいた質疑は別紙のとおり取りまとめたので、これを踏まえて本日質疑項目について意見いただきたい。まずは、江南市のいこまいCAR（デマンド交通）の取組について順に発言をお願いする。

<林委員>

路線バスとのすみ分けで留意されている点や、乗り合い乗車の場合の金額割合、過疎地・山間部は市内にあるのか聞きたい。江南市は人口密度が高く集中的な自治体であると認識しているため、こういった点を聞きたいと考えている。また、事業を実施してきた経験から、人口密度がどのくらいの自治体であれば成功すると考えるか教えてほしい。

<片山委員>

タクシー会社がいこまいCARを運行されてどのように感じられているのか、行政側というよりも受託側の状況について聞きたい。

<齊藤委員>

いこまいCARと一般利用タクシーの利用割合はどのくらいか、市民がいこまいCAR以外のタクシーをどのように利用しているのか聞きたい。また、タクシー運転手が高齢化により不足している現状もあるため、運転手の平均年齢について聞きたい。

<法貴副委員長>

事業開始からの年間利用実績の推移を教えてくださいのと、利用者の年齢層や用途を確認したい。また、運転手不足の現状もあると思うが、タクシー会社に対して第二種運転免許取得の補助などを行っているのかということや、今年から利用料金を値上げされた理由も聞きたい。

<木村委員長>

いこまいCARの利用者は運転免許証を返納された高齢者が多いのではないかとと思うが、他の年代と料金に差をつけているのかということや、バス利用との料金の比較について聞きたい。また、デマンド交通を検討する中で利用者数等のデータ把握が重要であるが、タクシールート別や時間別の利用者数データを取っているか、バスについても停留所ごとの利用者数データを取っているか聞きたい。他の委員からも、今まで出た質問に追加したい質問事項などあるか。

<山木委員>

デマンド交通で、朝夕の通勤・通学との連携や、昼間に利用が多いと思われるスーパーや市役所などを通るような、柔軟なルート変更をされているか聞きたい。また、江南市の中山間地域の割合についても聞きたい。

<小川委員>

運転手の平均年齢や、人手が足りているのかに加えて、子育て世帯の利用率を増やす取組をされていたのでその成果を聞きたい。また、料金が上がった理由も聞きたい。

<木村委員長>

運転手の平均年齢に関する質問があったが、何歳まで採用されているのかも併せて聞きたい。片山委員から受託者側のタクシー事業者に向けた質問があったが、当日は行政の立場からの説明になるため、当日聞けるかどうかは分からない。事前に出ている質問と、今いただいた質問から江南市への質疑項目をまとめたいがよいか。（全員了）

<木村委員長>

次に、藤枝市の市民ふれあい農園整備事業費補助金、ふじえだゼロから農業エント

リー制度（新規就農の促進）について意見を願います。

<林委員>

ふじえだゼロから農業エントリー制度について、近年のエントリー数や、その後の定着数、実務指導をどのように行ったか、実施にあたり苦労した点を聞きたい。

<片山委員>

申請者数と、そこから農業を始められた方の人数、農業を始める際に市から材料など支援しているか聞きたい。

<齊藤委員>

ふれあい農園とクライנגルデンとの違いや、既存農家と有機農家とのあつれきはないのか、地域を隔離するなどの対応をされているのか聞きたい。また、有機農業の高付加価値化にどのように取り組まれているのか聞きたい。

<法貴副委員長>

ふじえだゼロから農業エントリー制度を新設して地域にどのような影響があったかということや、将来の展望について聞きたい。

<木村委員長>

これまで出た意見に加えて、農家の後継者問題への対策についても聞きたい。ほかに意見はあるか。

<山木委員>

ゼロから農業エントリー制度に県外からの移住者がどのくらい参加されているか、空き家を利活用した補助制度があるか、農業をテーマにしたカフェやアトリエなどの場づくりに取り組まれているか聞きたい。また、就農してすぐ農業を辞める方の割合も聞きたい。

<小川委員>

エントリーして農業に従事され、経営が成り立っている方がいるのか、耕作する中で地域の既存農家との連携はどのようにしているか聞きたい。

<木村委員長>

今回の行政視察は菱田議長も同行されるが、藤枝市の農業施策について質問などあれば願います。

<菱田議長>

藤枝市のゼロから農業エントリー制度が創設された経緯を聞きたい。また、耕作放棄地や担い手不足の解消が制度の目的であると認識しているが、実施により課題がどのように解決されたかということや、今後の目標についても聞きたい。

<木村委員長>

事前に出ている質問と、今いただいた質問から藤枝市への質疑項目をまとめたいがよいか。

(全員了)

<木村委員長>

次に、浜松市の浜松市実証実験サポート事業（スタートアップ支援事業）の取組について意見を願います。

<林委員>

ベンチャーと大手企業とのコラボやマッチングはどのように設定されているのかということや、昨年新規連携数が増加した要因、はままつ産業イノベーション構想における成長分野7つを選定した経緯を聞きたい。また、失礼な質問であるが、人口や農業・工業力など恵まれたポテンシャルを持つにもかかわらず、財政力が高い順位ではないことのギャップについて聞きたい。

<片山委員>

実証実験サポート事業などに参加する企業はどのように審査しているのか、審査員の構成も含めて聞きたい。また、ファンドサポート事業で採択された取組の中の成功事例も聞きたい。

<齊藤委員>

地元企業が参加しないと意味がないという思いから、地元企業がスタートアップ支援に取り組むきっかけづくりをどのようにしているか聞きたい。

<法貴副委員長>

スタートアップ支援事業に多くの企業が参加されているが、成功事例を聞きたい。

<木村委員長>

事業費や助成金の内訳、プロジェクトの件数、どのように審査しているかについて聞きたい。ほかに意見はあるか。

<山木委員>

浜松市外から起業家を呼び込むためのPRはどのように行っているかということや、SNSでの広報に積極的に取り組まれているため、専門の部署を設けているのか聞きたい。また、スタートアップ支援事業に対する熱い思いや、苦労話、エピソードなども聞きたい。

<小川委員>

サポート事業における成功事例や、市民生活・地域経済への影響はどのようなものか聞きたい。

<木村委員長>

ほかに意見がなければ、事前に出ている質問と、今いただいた質問から浜松市への質疑項目をまとめたいがよいか。

(全員了)

<木村委員長>

まとめた質疑項目は事務局から視察先に送付するので、当日また意見などお願いする。

10:51

#### 4 その他

<木村委員長>

今回は、6月27日(火)、午前10時から、6月議会の議案審査を行うのでよろしくをお願いします。

散会 ~10:52